ふくちやまし
議会だより
2007 7
平成19年7月1日発行　No.67

福知山城　ドッコちゃん

第20期　福知山市議会議員（平成19年５月８日）

5月臨時市議会の概要

5月臨時市議会は、市議会議員改選後の初議会として16日から21日までの6日間にわたって開かれ、上程された平成19年度福知山市老人保健医療事業特別会計補正予算など2議案を審議し、いずれも原案どおり可決した。

この議会では、正副議長の選挙で、加藤弘道議長、松本良彦副議長を選出するとともに、常任委員会、議会運営委員会の委員構成を行ったほか、「由良川改修促進」の特別委員会を設置した。

また議会選出の監査委員に杉山金三議員を選任することに同意した。

補正予算

老人保健医療事業特別会計では、平成18年度決算見込みにおいて、2億100万6千円の不足を生じるため、平成19年度予算で補てんをし、補正後の総額を86億6、030万6千円とした。

条例

●専決処分の承認

地方税法等の一部を改正する法律等の制定に伴い、「福知山市税条例」及び「福知山市都市計画税条例」について、平成19年3月31日に専決処分により一部改正を行った。

専決処分の承認

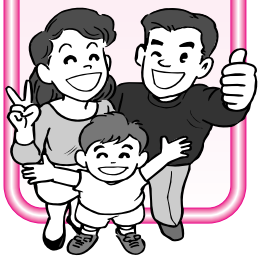
水道事業会計では、平成18年度において20万円の予算不足を生じたため、平成19年3月30日に補正予算の専決処分を行った。

人事議案

●監査委員
杉山　金三

●農業委員会委員（議会選出）
塩見卯太郎
中島　英俊
芦田　廣

「家庭から地域を、地域から市を見つめ、住んで良かった福知山」づくりをめざして



市民の声が反映される議会に

5月臨時会で決まった議会の体制

杉山（すぎやま） 金三（かねみつ） 監査委員

松本（まつもと） 良彦（よしひこ） 副議長

加藤（かとう） 弘道（ひろみち） 議長

議会だより編集委員会

◎松本 良彦　○野田 勝康
稲垣 司郎　吉見 光則
細見 秀樹　木戸 正隆
大谷 洋介　谷口 守
吉見 純男　永田 時夫

「ふくちやまし議会だより」の編集、発行等について協議する。

議会運営委員会

◎野田 勝康　○荒川 浩司
吉見 光則　審良 和夫
高宮 辰郎　和田 久
井上 重典　今次 淳一
仲林 清貴

会期及び議事日程、進行、議案、意見書、請願等の取扱いを協議し、円滑な運営をはかる。

◎委員長
○副委員長

常任委員会

文教建設	経済	市民厚生	総務
◎足立 進	◎福島 慶太	◎竹下 一正	◎吉見 光則
○審良 和夫	○武田 義久	○木戸 正隆	○稲垣 司郎
奥藤 晃	池田 雅志	細見 秀樹	荒川 浩司
野田 勝康	中島 英俊	大谷 洋介	杉山 金三
高宮 辰郎	塩見 仁	大西 敏博	和田 久
塩見卯太郎	芦田 廣	谷口 守	芦田 弘夫
井上 重典	髙宮 泰一	吉見 純男	仲林 清貴
今次 淳一	永田 時夫	松本 良彦	

文教建設委員会
学校教育、社会教育などを行う**「教育委員会」**、市管理の道路及び河川、公営住宅、建設工事などの総括を行う**「土木建築部」**、都市計画、土地開発事業などを行う**「都市整備部」**に属する事項を審議する。

経済委員会
農林業の振興、農村地域環境整備等を行う**「農林部」**、商工業の振興、観光施策を行う**「商工観光部」**、下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽事業の整備を行う**「下水道部」**、ガス水道の供給を行う**「ガス水道部」**及び農業委員会に属する事項を審議する。

市民厚生委員会
市民の福祉施策を進めたり、健康推進などの施策を行う**「保健福祉部」**、人権啓発の推進、市民生活と緊密な戸籍、保険、交通、労働、年金に関することを行う**「市民人権部」**、市民の健康を守る**「市民病院」**に属する事項を審議する。

総務委員会
地域振興、施策の総合調整、情報管理、秘書、広報、職員の任免などを行う**「企画管理部」**、環境の保全や対策などを行う**「環境政策部」**、税金などの徴収、予算編成、自治会、支所、議会などに関することを行う**「総務部」**、市民の生命と財産を守る**「消防本部」**などに属する事項を審議する。

特別委員会

議会設置
由良川改修促進
◎和田　久・○髙宮　泰一・池田　雅志・奥藤　晃・細見　秀樹・杉山　金三・高宮　辰郎 塩見卯太郎・　塩見　仁・今次　淳一・竹下　一正・芦田　弘夫
由良川改修事業の促進とともに、由良川の完全な治水の調査、研究を行う。

議会選出により議員が所属する各種委員会・協議会等

名称	氏名	名称	氏名
農業委員会	塩見卯太郎・中島　英俊 芦田　廣	職員懲戒審査委員会	杉山　金三・吉見　純男 芦田　弘夫
市営住宅入居者選考委員会	足立　進	自治功労者表彰審査委員会	大谷　洋介・野田　勝康 谷口　守・芦田　弘夫
都市計画審議会	荒川　浩司・細見　秀樹 高宮　辰郎・加藤　弘道 永田　時夫	交通対策協議会	吉見　光則・竹下　一正 加藤　弘道・足立　進
青少年問題協議会	奥藤　晃	環境審議会	福島　慶太・髙宮　泰一
公民館運営審議会	審良　和夫・井上　重典	人権問題協議会	仲林　清貴
図書館協議会	塩見卯太郎・今次　淳一	農村計画審議会	池田　雅志・武田　義久 塩見　仁
国民健康保険運営協議会	大谷　洋介・吉見　純男		
民生委員推薦会	木戸　正隆・谷口　守	病院事業運営協議会	松本　良彦・竹下　一正
社会福祉協議会理事	大西　敏博	高齢者対策協議会	松本　良彦
水防協議会	吉見　光則・和田　久	夜久野町養豚団地環境保全委員会	稲垣　司郎

会派一覧

◎代表者（届け出順）

会派名等	議員名	人数
福政会	◎武田　義久・野田　勝康・竹下　一正・芦田　弘夫・芦田　廣	5名
新政会	◎審良　和夫・塩見　仁・井上　重典・松本　良彦・杉山　金三 福島　慶太・池田　雅志・稲垣　司郎	8名
市民派ネット	◎荒川　浩司・奥藤　晃・細見　秀樹	3名
日本共産党 福知山市会議員団	◎仲林　清貴・足立　進・吉見　純男・中島　英俊・髙宮　泰一 塩見卯太郎	6名
孜政会	◎大西　敏博・吉見　光則	2名
平成会	◎高宮　辰郎・加藤　弘道・谷口　守	3名
公明党議員団	◎今次　淳一・大谷　洋介	2名
自由民主党議員団	◎木戸　正隆・和田　久	2名
いずれの会派にも所属しない議員	永田　時夫	1名

●発行日／平成19年7月1日　●発行／福知山市議会　●編集／福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1　TEL.0773(24)7031

5月臨時市議会常任委員会の審査報告

総務委員会

当委員会に付託された議第2号専決処分の承認について慎重に審査を行った。

専決第4号福知山市税条例の一部を改正する条例の制定については、バリアフリー改修にかかる固定資産税の減額処置の該当見込み件数とその根拠、また主な改修の内容と市民への周知徹底の方法について質疑があり、平成18年度に介護保険制度、障害者福祉制度などを利用して一定補助金を受けたあとの自己負担額が30万円以上ある件数は10件であった。改修工事とは廊下の拡幅・階段の勾配の緩和などの8項目である。周知の方法は、窓口にチラシを置くとともに、固定資産税の納税通知書に説明書を同封している。今後は市のホームページや広報を通じて周知をはかりたいとの答弁があった。

上場株式等の譲渡所得等に対する税率の特例措置の適用期限の延長について市の考えはとの質疑に対して、改正の目的は、景気の先行きが不透明なことに配慮されたものと判断しているとの答弁があった。

以上の経過で審査を終え採決の結果、議第2号は、全員賛成で原案のとおり可決された。

市民厚生委員会

当委員会に付託された議第1号平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算（第1号）について審査を行った。

提案内容は、平成18年度決算見込みにおいて、国庫支出金等の歳入が不足したために繰上充用金で補てんするものであるとの説明があった。平成18年度の不足額2億100万6千円の補正にかかる医療費の確定額について、一人当たりの医療費が全国平均より高くなっているのかどうかの質疑に対し、理事者側からは全国平均の医療費についての資料は持ち合わせていないが、本市の一人当たりの医療費は確定額から算出すると65万6千円かかっていることになるとの答弁があった。

以上の経過で審査を終わり採決の結果付託された議第1号は全員賛成で原案のとおり可決された。

経済委員会

経済委員会に付託された議第2号専決処分の承認について、委員全員で慎重に審査した。

専決第3号平成18年度福知山市水道事業会計補正予算（第3号）について理事者側から、議案書により詳細な説明を受けた後、質疑に入った。

委員から予定していた企業債償還金変更の具体的な理由について質疑があり、一定のシミュレーションに基づき償還額を算定していたが、平成18年度分企業債償還金確定額と相違していた。また、それに伴う借り換えが出来なかった端数分が関係しているとの答弁があった。

以上の経過で審査は終わり、採決の結果、本委員会に付託された議第2号は、全員賛成で原案のとおり可決された。

議会日誌 5月

【5月】

8日　全議員協議会（初登庁）
　　各派幹事会
10日　全議員協議会、各派幹事会
11日　全議員協議会、各派幹事会
16日　臨時市議会本会議、各派幹事会、全議員協議会
17日　臨時市議会本会議、常任委員会
21日　臨時市議会本会議、全議員協議会、議会だより編集委員会
23～25日　新議員等市政事務説明会
28日　議会だより編集委員会
29日　議会運営委員会
30日　京都府市議会議長会
31日　京都府北部五市議会連絡協議会

編集後記

福知山市中央選挙区では、無投票当選と言う結果になりましたが、旧3町では、激しい選挙戦が行われ、全体で9名の新人議員が誕生し、議会構成も大きく変わりました。

福知山市においては、第4次行政改革大綱に基づき、合併後の改革が進められています。このような時、市議会においても改革の時が来ています。

それは、単に「議員定数」問題だけに限りません。事後評価から事前評価へと移行する中、「予算審査特別委員会」のさらなる充実が必要です。より多くの議員に質問機会を与えるために、質問方式の検討も重要です。

一方、議会は市民の皆さまに身近な存在でなければなりません。今後とも、皆様方のご意見を大切に、議会改革に取り組んでまいりたいと思います。議会だよりについてのご意見は、気軽に市議会事務局までお申し出下さい。

議会だより編集委員会メンバー